

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学 術)	氏名 Author	SOULIXAY HONGSAKHONE
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 ① ・ 2 項該当		
論文題目 Title of Dissertation Reciprocity of Rural Households through Transactions in a Developing Country: A Case Study from Lao PDR			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	広島大学大学院国際協力研究科 教授 市橋 勝	印 Seal	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科 教授 金子慎治		
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科 教授 柿中 真		
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科 教授 藤原章正		
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科 教授 マハラジャン, ケシャブ・ラル		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本研究の目的は、途上国の条件不利地域における人々の経済活動の相互依存関係や互恵性を把握し、彼等の経済活動がどのように維持されているのかを実証的に明らかにすることである。対象地域としてはラオスにおける少数民族の集落（ルアンパバーン県 Phonexay 村）を取り上げ、2 回にわたる現地の家計調査データをもとに、集落投入産出表を作成して分析するという方法を用いている。</p> <p>論文は全 5 章で構成されている。第 1 章は序論で、本研究の目的、課題の設定及び背景説明が行われている。多くの発展途上国、その中でも更に条件不利な地方集落ではまともなデータが存在していないため、直接フィールド調査によって得たデータでの分析が必須である。本研究では、そのオリジナルのデータを投入産出表という家計相互の取引情報を記述する枠組みに落とし込んで分析するというユニークな方法を採用している。第 2 章は、その投入産出表の実際の作成手順と主な結果を概観している。対象としたのは、ラオスの地方集落全 124 戸であり、彼等が作成している農作物などを 10 品目に分類した Izard 型の投入産出表を作成している。その結果、高所得の 4 家計が村内取引の中心的役割を担っていることが分かった。第 3 章は、前章で得られた投入産出表の取引表を、取引の有無のみを記述する質的投入産出表に変換し、それを用いて家計間の相互依存関係および集落外への依存度を指標化して把握する分析を行なっている。結果として、集落内での高所得家計と低所得家計の取引頻度が高く、中間層は相対的に取引頻度が低いことが分かった。これは低所得家計が高所得家計との取引によって経済的に支えられているのに対し、中間層家計は相対的に自立していることを示唆するものである。第 4 章は、出稼ぎ労働者の送金が集落内での取引や消費など有意な影響を与えているかどうか、また集落内の住宅間の距離が取引に影響しているかどうかを分析している。結果として、送金を受けているグループの集落内取引は、それを受けていないグループよりも有意に多くの取引を行なっていることが示された。とりわけ、主食である米の取引において顕著な違いが示された。また、教育や医療への支出においても、処置群のグループのほうが有意に多くの支出を行なっていることが示された。他方で、住宅間の距離は、取引量の差はあるものの取引頻度には大きな影響を与えていないことが示された。第 8 章は各章での分析結果から得られた結果をまとめ、含意を述べている。</p> <p>全体として、内容は博士論文に相応しい水準のものであるということが確認された。なお、論文第 3 章は既に査読付き国際誌に掲載済みである。</p> <p>【査読付き論文 (SSCI)】 Soulixay Hongsakhone & Masaru Ichihashi, Measurement of reciprocity in a village through social networks, <i>Economic Systems Research</i>, vol.31,2019,1-20.</p>			